

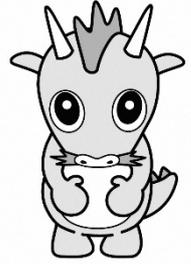
しょうがいしゃふくし かん きょうりょく 障害者福祉に関するアンケートにご協力ください

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この調査の目的は、次期さいたま市障害者総合支援計画の策定など、今後のさいたま市の障害福祉施策を進めるうえでの参考資料とすることです。

回答は無記名としており、統計的に処理します。個人が特定されたり、個別の回答が公表されることは決してありません。

調査の目的をご理解いただき、率直なお考えやお気持ちをお答えいただきますようご協力をお願いいたします。



【調査の対象者（配布方法）】

- ・身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者、自立支援医療制度利用者の中から無作為抽出
- ・指定難病医療給付制度利用者、小児慢性特定疾病医療給付制度利用者の中から無作為抽出
- ・障害者団体、医療機関、市の担当部署を通じて配布
- ・任意でご協力いただける方

【調査結果の主な活用方法】

- ・さいたま市障害者総合支援計画（令和6年度～令和8年度）の策定の資料となります。
- ・障害のある人の生活実態やニーズを把握し、必要なサービスの種類と量を把握します。
- ・新しい障害福祉施策の形成や、現在実施している事業の見直しなどに活用します。

＜ご記入にあたってのお願い＞

1. この調査は、**無記名**でお願いしています。
2. 回答は、この調査票に直接ご記入ください。
記入にあたっては、鉛筆やボールペンなどで記入してください。
3. 各質問は、ご本人におたずねしています。ご本人の記入が難しい場合には、ご家族や介助者、施設職員の方などがご本人の意見を聞き、記入してください。ご本人の意見を確かめることが難しい場合は、代理の方が判断して記入してください。
なお、ご本人が未成年者の場合は、保護者と一緒にご回答ください。
4. 答えたくない質問については、答える必要はございません。
5. 質問への回答は、あてはまる番号に○をつけたり、記入欄に直接ご記入いただくものなどがあります。また、質問によって選んでいただく数を「1つ」「3つまで」などと指定していますので、質問文をよく読んでお答えください。
6. 記入が終わりましたら、**10月31日（月）**までに同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに、郵便ポストへご投函ください。

※このアンケートについてのご質問は、下記へお問い合わせください。

さいたま市 保健福祉局 福祉部 障害政策課
電話：048-829-1306 FAX：048-829-1981

※この調査では、障害のあるご本人を「あなた」と呼んでいます。

※このアンケートの設問数は68問です。

【「あなた（障害のある方ご本人）」のについてお聞きします】

（すべての方にお聞きします。）

問1. この調査票に記入していただいたのはどなたですか。

（該当する番号1つに○をつけてください。）

1. 本人
2. 本人の答えと意見を聞き、家族や支援者（介助者や施設職員等）が代理記入
3. 本人の答えと意見を確かめることが難しいので、家族や支援者（介助者や施設職員等）が判断して記入

問2. あなたの性別をお答えください。（該当する番号1つに○をつけてください。）

1. 男性
2. 女性
3. その他
4. 答えない

問3. あなたの年齢（令和4年10月1日現在の満年齢）はおいくつですか。

満 歳

問4. あなたが現在住んでいる区（市外に住んでいる方はその前に市内に住んでいた区）はどこですか。（該当する番号1つに○をつけてください。）

- | | | | | |
|-------|--------|--------|--------|---------|
| 1. 西区 | 3. 大宮区 | 5. 中央区 | 7. 浦和区 | 9. 緑区 |
| 2. 北区 | 4. 見沼区 | 6. 桜区 | 8. 南区 | 10. 岩槻区 |

問5. あなたは、障害者手帳をお持ちですか。

（（1）から（3）の手帳について、それぞれ該当する番号1つに○をつけてください。）

（1）身体障害者手帳（総合等級）

1. 手帳を持っている

（該当する等級に○をつけてください。→ 1級 2級 3級 4級 5級 6級）

2. 持っていない

3. わからない

【日常生活の状況についてお聞きします】

(すべての方にお聞きします。)

問14. あなたの主な介護者(ケアラー)・支援者は、どなたですか。また、主な介護者の年齢もお答えください(主な介護者が家族の場合のみ)。
(該当する番号2つまで○をつけてください。)

<p>1. 父または母</p> <p>2. 夫または妻</p> <p>3. 子どもやその配偶者</p> <p>4. その他の親族</p>	<p>5. 各種ヘルパー</p> <p>6. 施設・病院の職員</p> <p>7. その他()</p> <p>8. 介護は受けていない</p>
--	--

↓ (該当する年齢に○をつけてください) ↘ 問16へ

(10歳未満 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上)

(問14で「1～4」と答えられた方にお聞きします。)

問15. あなたが主な介護者(支援者)から介護(支援)を受けられないときはどうしますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

<p>1. 同居している他の家族や親戚に頼む</p> <p>2. 別居している他の家族や親戚に頼む</p> <p>3. 近所の人や知人に頼む</p> <p>4. ボランティアに頼む</p> <p>5. ホームヘルパーに依頼する</p>	<p>6. ガイドヘルパーに依頼する</p> <p>7. 訪問看護師に依頼する</p> <p>8. 施設や病院などに依頼する</p> <p>9. その他()</p> <p>10. ひとりでなんとかする</p>
---	---

かた き
(すべての方にお聞きします。)

とい つぎ かつどう しえん ひつよう
 問 16. 次の活動をするときに支援は必要ですか。

がいどう ばんごう
 (それぞれ該当する番号1つに○をつけてください。)

	ひとりで できる	いちぶしえん 一部支援 が必要 ひつよう	すべてに しえん ひつよう 支援が必要
(1) しょくじ にゆうよく 食事や入浴、トイレ、着がえなどの身のまわりのこと	1	2	3
(2) いえ なか いどう 家の中での移動	1	2	3
(3) そうじ せんたく しょくじ じゅんび 掃除、洗濯、食事の準備などの家事	1	2	3
(4) か もの 買い物やちょっとしたおつかい	1	2	3
(5) かね かんり お金の管理 (1か月ごと)	1	2	3
(6) くすり かんり 薬の管理	1	2	3
(7) ぎんこう やくしょ 銀行や役所などでの手続き	1	2	3
(8) びょういん やっきょく 病院や薬局などへの通院	1	2	3
(9) でんしゃ 電車やバスなどを使った外出	1	2	3
(10) ひと 人とのコミュニケーション	1	2	3
(11) じょうきがい しえん ひつよう 上記以外で支援が必要なこと (具体的に：)			

【相談についてお聞きします】

(すべての方にお聞きします。)

問 17. 相談する相手はどなたですか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)

1. 家族や親戚
2. 近所の人
3. 友人や知人
4. 学校・職場やその関係者
5. 医療機関やその関係者
6. 障害福祉サービス事業所・施設やその関係者
7. 区役所支援課などの行政機関
8. 障害者生活支援センターなど相談支援事業所
9. 障害者団体・患者会
10. 障害者相談員
11. 相談したいが、相談相手がいない
12. 相談する必要がない
13. その他 ()

問 18. 相談について、困ることはありますか。

(該当する番号すべてに○をつけてください。)

1. 相談相手や相談窓口をどうやって探せばいいかわからない
2. 相談したい内容について、どの相談窓口で取り扱っているのかわからない
3. 相談窓口で相談しようとしても、専門外などの理由で受付てもらえない
→ 差し支えなければ相談しようとした内容や断られた理由を記入してください
()
4. 相談窓口で相談しても満足のいく回答がもらえない
5. プライバシー保護に不安がある
6. 相談窓口が遠い
7. 夜間や休日などに相談できる相談窓口がない
8. 相談したいことを自分でうまく伝えることができない
9. その他 ()

【日中の活動の場についてお聞きします】

(すべての方にお聞きします。)

問19. あなたは、主に日中、どのように過ごしていますか。

(該当する番号1つに○をつけてください。)

1. 保育園・幼稚園・障害児通園施設・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・サポート校・大学・専門学校・高等技術専門学校(職業訓練校)に通っている	→ 問20へ
2. 働いている(在宅勤務・就労移行支援・就労継続支援等での就労を含む)	→ 問21へ
3. 障害福祉サービス事業所等に生活介護や自立訓練のために通所している	
4. 病院に入院している	
5. 入所している施設で過ごしている	
6. 病院・診療所等のデイケアなどに通っている	
7. 趣味活動(習い事・スポーツ活動・創作的な活動等)をする場所に通っている	
8. 同じ障害を持つ仲間と集まっている(自助グループに参加している)	
9. 主に自宅にいる	→ 問30へ
10. その他()	→ 問31へ

（問19で「2. 働いている」と答えた方にお聞きします。）

問21. あなたは、どのように働いていますか。
 （該当する番号1つに○をつけてください。）

- | | |
|-------------------------|-------|
| 1. 就労移行支援・就労継続支援など福祉的就労 | →問29へ |
| 2. 一般企業の正社員 | |
| 3. 一般企業の契約社員 | |
| 4. 特例子会社の正社員 | |
| 5. 特例子会社の契約社員 | |
| 6. 自営業 | |
| 7. パート・アルバイト | |
| 8. 家業（自営業）の手伝い | |
| 9. その他（ ） | |

問22. あなたは、1週間に何日くらい働いていますか。
 （該当する番号1つに○をつけてください。）

- | | |
|-------|------------|
| 1. 1日 | 5. 5日 |
| 2. 2日 | 6. 6日以上 |
| 3. 3日 | 7. 決まっていない |
| 4. 4日 | |

問23. あなたは、1日に何時間くらい働いていますか。
 （該当する番号1つに○をつけてください。）

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 1時間未満 | 4. 6時間以上 8時間未満 |
| 2. 1時間以上 4時間未満 | 5. 8時間以上 |
| 3. 4時間以上 6時間未満 | 6. 決まっていない |

問24. あなたの、給与・賃金はどのくらいですか。
 手取り（口座に振り込まれる金額）でお答えください。
 （賞与をもらっていない場合は0円と記入してください。）

- ・ 1か月の平均給与・賃金 約 円
- ・ 1年間の賞与（ボーナス） 約 円

問 25. あなたは、現在の仕事はどうやって見つけましたか。
(該当する番号 1 つに○をつけてください。)

1. 公共職業安定所 (ハローワーク)
2. 民間の職業紹介会社
3. 障害者総合支援センター
4. 自営業
5. 家族・親族の紹介
6. 学校の紹介
7. 知り合いの紹介
8. 自分で探した
9. 高等技術専門学校 (職業訓練校) の紹介
10. 就労移行支援事業所の紹介
11. その他 ()

問 26. あなたは、障害や病気があることを職場に伝えてありますか。
(該当する番号 1 つに○をつけてください。)

1. 伝えている → 問 28 へ
2. 伝えていない → 問 27 へ

(問 26 で「2. 伝えていない」と答えた方にお聞きします。)

問 27. あなたが障害や病気があることを職場に伝えない理由はどれですか。
(該当する番号 1 つに○をつけてください。)

1. 障害や病気があることを伝える必要がなかったから
2. 周囲の偏見が気になり、障害や病気を隠しているから
3. その他 ()

→ 問 28 へ

問 28. 仕事を続けるためには何が必要だと思えますか。
 (該当する番号3つまで○をつけてください。)

1. 生活に必要な額の賃金
2. 体調に合った勤務体制 (合理的配慮)
3. 良好な人間関係をつくるための援助 (合理的配慮)
4. ジョブコーチによる支援
5. 通勤のための援助
6. 能力に合った仕事 (合理的配慮)
7. 異動や業務変更に対応していくための援助 (合理的配慮)
8. 職場の産業医のアドバイス
9. 日常生活の援助
10. パソコン、インターネット等の技術習得
11. 職場の障害理解 (合理的配慮)
12. 病院などでの医療ケア
13. 通院による主治医のアドバイス
14. その他 ()
15. 特にない
16. わからない

→ 問 29 へ

(問 19 で「1～8」と答えた方にお聞きします。)

問 29. あなたは、活動の場について困っていることや不満がありますか。
 (該当する番号すべてに○をつけてください。)

1. 授業や仕事などの内容が難しすぎる
2. 授業や仕事などの内容が簡単すぎる
3. 授業や仕事などの内容が自分に向いていない
4. 職場・学校・施設・病院での理解や配慮が足りない
5. 職場・学校・施設・病院での人間関係が難しい
6. 通うのが大変
7. 賃金や待遇が不満
8. その他 ()
9. 困っていることや不満はない

→ 問 31 へ

とい おも じたく こた かた き
【問19で「9. 主に自宅にいる」と答えた方にお聞きします。】

とい
問30. あなたが、自宅にいる理由は何ですか。
がいてう ばんごう
(該当する番号1つに○をつけてください。)

1. しょうがっこうにゆうがくまえ
小学校入学前のため
2. びょうき
病気のため
3. しょうがい
障害のため
4. こうれい
高齢のため
5. かじ いくじ
家事・育児などがあるため
6. しゅみ じたく
趣味などを自宅でしている
7. はたら じぶん てき しごと み
働きたいが、自分に適した仕事が見つからない、または見つかっても雇
用して
もらえないため
8. じぶん あ いばしょ み
自分に合う居場所が見つからないため
9. その他 ()

がいしゅつ き
【外出についてお聞きします】

かた き
(すべての方にお聞きします。)

とい
問31. あなたが、外出する際に、よく利用する移動手段は何ですか。
がいてう ばんごう
(該当する番号すべてに○をつけてください。)

1. でんしゃ こうきょうこうつうきかん
電車・バスなどの公共交通機関
2. タクシー
3. じどうしゃ
自動車
4. バイク
5. じてんしゃ とほ
自転車・徒歩
6. ヘルパーなどによる送迎
そうげい
7. その他 ()

じょうほう き
【情報についてお聞きします】

かた き
(すべての方にお聞きします。)

とい 3 4. しょうがいふくし かん じょうほう え
障害福祉に関する情報は、どこから得ますか。
がいどう ばんごう
(該当する番号すべてに○をつけてください。)

1. し こうほう
市の広報
2. インターネット (し こうしき
市の公式ホームページやメールマガジンなど)
3. し
市のガイドブック
4. しんぶん ざっし
新聞・雑誌
5. テレビ・ラジオ
6. かぞく ゆうじん
家族や友人
7. くやくしょしえんか ほけん ほけんじょ じどうそうだんじょ
区役所支援課・保健センター・保健所・児童相談所など
8. しょうがいふくしかんけいじぎょうしょ しせつ
障害福祉関係事業所・施設
9. がっこう しょくば
学校・職場
10. びょういん いりょうきかん
病院などの医療機関
11. しょうがいしゃだんたい かんじゃかい
障害者団体・患者会
12. しょうがいしゃせいかつしえん そうだんしえんじぎょうしょ
障害者生活支援センターなど相談支援事業所
13. その他 ()
14. ふくし かん じょうほう え
福祉に関する情報を得たことがない
15. ふくし かん じょうほう ひつよう
福祉に関する情報を必要としていない

問35. あなたは、情報^{じょうほう}を入手^{にゆうしゆ}したり、コミュニケーションをとるうえで困^{こま}ることはありますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)

1. 案内表示^{あんないひょうじ}がわかりにくい
2. 音声情報^{おんせいじょうほう}や文字情報^{もじじょうほう}が少ない
3. パソコン・タブレット等の使用^{とうつかかた}がわからない
4. Web（ホームページ）が音声読み上げソフトや拡大ソフトに対応^{おんせいよあかくだい}していない
5. 問合せ先^{とひあわさき}の情報^{じょうほう}にFAX番号^{ばんごう}やメールアドレス^{きさい}の記載^{きざい}がない
6. 相手^{あいて}と直接^{ちよくせつかあ}顔を合わせ^あてて話す^{はな}のが苦手^{にがて}
7. うまく話^{はなし}や質問^{しつもん}ができない、自分の思い^{じぶんおも}を伝える^{つた}ことを控^{ひか}えてしまう
8. 相手^{あいて}が介助者^{かいじょしゃ}と話し^{はな}てしまう
9. 読む^よことが難^{むずか}しかったり、複雑^{ふくざつ}な文章^{ぶんしょう}表現^{ひょうげん}がわかりにくい（簡単^{かんたん}でわかりやすい文章^{ぶんしょう}にしてほしい）
10. 難^{むずか}しい言葉^{ことば}や早口^{はやくち}で話^{はな}されるとわかりにくい（ゆっくり丁寧^{ていねい}な説明^{せつめい}がほしい）
11. 状況^{じょうきょう}判断^{はんだん}が困難^{こんなん}なので、説明^{せつめい}されても相手^{あいて}の意思^{いし}や情報^{じょうほう}を正^{ただ}しく把握^{はあく}できない
12. その他^た（ ）
13. 特に^{とく}困^{こま}ることはない

【災害時の対応^{さいがいじ たいおう}についてお聞きします】

(すべての方^{かた}にお聞きします。)

問36. 災害^{さいがい}が起こ^おった時^{とき}に備^{そな}え、あなたが知^しっていることや経験^{けいけん}したことはありますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)

1. 災害時^{さいがいじ}に自力^{じりき}で避難^{ひなん}することが困難^{こんなん}な高齢者^{こうれいしゃ}や障害者^{しょうがいしゃ}をあらかじめ登録^{とうろく}してお
く名簿^{めいぼ}（避難行動要支援者名簿^{ひなんこうどうようしえんしゃめいぼ}）を知^しっている
2. 避難行動要支援者名簿^{ひなんこうどうようしえんしゃめいぼ}に登録^{とうろく}をしている
3. 近く^{ちか}の指定避難所^{していひなんじょ}（災害^{さいがい}の危険^{きけん}がなくなるまで滞在^{たいざい}することができる場所^{ばしょ}）はど
こか知^しっている
4. 災害時^{さいがいじ}に障害者^{しょうがいしゃ}、高齢者^{こうれいしゃ}など配慮^{はいりよ}を要^{よう}する方を優先^{かた}的に受け入れる施設^{ゆうせんてき}（要配慮^{いしせつ}者優先避難所^{ようはいりよ}）がどこか知^しっている
5. 防災訓練^{ぼうさいくんれん}に参加^{さんか}もしくは誘^{さそ}われたことがある
6. 家族^{かぞく}などと連絡^{れんらく}方法を決^きめている（災害用伝言ダイヤル^{さいがいようでんごん}など）
7. その他^た（ ）
8. 特に^{とく}ない

【発達^{はったつ}の状^{じょうきょう}況^きについてお聞きします】

(すべての方^{かた}にお聞きします。)

問38. 発達^{はったつ}障害^{しょうがい}と診断^{しんだん}されたことはありますか。

(該当^{がいとう}する番号^{ばんごう}1つに○をつけてください。)

※発達^{はったつ}障害^{しょうがい}とは、発達^{はったつ}障害^{しょうがい}者^{しや}支援^{しえん}法^{ぽう}において、「発達^{はったつ}障害^{しょうがい}」は「自閉^{じへい}症^{しやう}、アスペルガー^{あすぷるがー}症^{しやう}候^{こう}群^{ぐん}その他の広汎^{こうはん}性^{せい}発達^{はったつ}障害^{しょうがい}、学^{がく}習^{しゅう}障^{しょう}害^{がい}、注^{ちゅう}意^い欠^{けつ}陥^{かん}多^た動^{どう}性^{せい}障^{しょう}害^{がい}そ
の他^たこれに類^るする脳^{のう}機^き能^{のう}障^{しょう}害^{がい}であってその症^{しやう}状^{じやう}が通常^{じょうじょう}低^{てい}年^{ねん}齢^{れい}におい^て発^{はつ}現^{げん}するもの」と定^{てい}義^ぎされています。

1. ある

2. ない

3. わからない

→ 問43へ

(問38で「1. ある」と答^{こた}えた方^{かた}にお聞きします。)

問39. あなたは現在^{げんざい}どのような診断^{しんだん}を受けていますか。

(該当^{がいとう}する番号^{ばんごう}すべてに○をつけてください。)

1. 広汎^{こうはん}性^{せい}発達^{はったつ}障^{しょう}害^{がい}

(自閉^{じへい}症^{しやう}スペクトラム^{しやうがい}障^{しょう}害^{がい})

2. 学^{がく}習^{しゅう}障^{しょう}害^{がい} (LD)

3. 注^{ちゅう}意^い欠^{けつ}陥^{かん}・多^た動^{どう}性^{せい}障^{しょう}害^{がい} (ADHD)

4. 特^{とく}に診断^{しんだん}は受^うけていない

5. その他 ()

1. 知^ち的^{てき}障^{しょう}害^{がい}を伴^{ともな}う自閉^{じへい}症^{しやう}

2. 高^{こう}機^き能^{のう}自閉^{じへい}症^{しやう}

(高^{こう}機^き能^{のう}広汎^{こうはん}性^{せい}発達^{はったつ}障^{しょう}害^{がい})

3. アスペルガー^{あすぷるがー}症^{しやう}候^{こう}群^{ぐん}

4. 非^ひ定^{てい}型^{けい}自閉^{じへい}症^{しやう}

5. その他 ()

問40. ご家^か庭^{てい}で障^{しょう}害^{がい}に気^きづいたのはいつ頃^{ごろ}ですか。

(該当^{がいとう}する番号^{ばんごう}1つに○をつけてください。)

1. 0~1歳^{さい}

4. 7~12歳^{さい}

7. 18~29歳^{さい}

2. 2~3歳^{さい}

5. 13~15歳^{さい}

8. 30歳^{さい}以^い降^{こう}

3. 4~6歳^{さい}

6. 16~17歳^{さい}

とい
問 4 1. ご家庭で障害に気づいたきっかけは何ですか。
(該当する番号1つに○をつけてください。)

1. 家族や周りの人が気づいた
2. 乳幼児健診で知らされた
3. 医療機関を受診したときに知らされた
4. 育児相談などで知らされた
5. 保育園・幼稚園・学校の関係者が気づいた
6. 職場や仕事関係者が気づいた
7. その他 ()

とい
問 4 2. 発達支援について困っている(または以前困っていた)ことはありますか。
(該当する番号すべてに○をつけてください。)

1. 発達支援に関する情報が少ない
2. 希望する施設や保育園・幼稚園に入れない
3. 施設での療育・訓練の機会が少ない
4. 施設での療育・訓練の内容に問題がある
5. 本人の成長に不安がある
6. 友だちとの関係づくりがうまくできない
7. 通園・通所の送迎が大変
8. 費用など経済的負担が大きい
9. 小学校～大学等入学時の学校選択
10. 雇用の場が少ない
11. 特に困っていることはない
12. その他 ()

【精神科・神経科・心療内科の受診についてお聞きします】

(すべての方にお聞きします。)

問43. あなたの精神科・神経科・心療内科の受診状況をお答えください。
(該当する番号1つに○をつけてください。)

1. 入院している
2. 定期的に通院している → 問53へ
3. 入院も通院もしていない → 問55へ

(問43で「1. 入院している」と答えた方にお聞きします。)

問44. あなたの現在の入院は何回目ですか。
(該当する番号1つに○をつけてください。)

1. 初めて
2. 2回目
3. 3～5回目
4. 6回以上
5. わからない

問45. 入院をした理由は何ですか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

1. 服薬を中断して病状が悪化したため
2. 不眠や不安定な状況が続いたため
3. お薬の調整のため
4. よくわからないまま入院していた
5. 医師等病院の職員に勧められて入院した
6. 親や兄弟など面倒を見てくれる人がいなくなってしまうので入院した
7. 住むところがなくなり、入院することになった
8. その他 ()

【今後のあなたの生活についてお聞きします】

(問46で「3～6」と答えた方にお聞きします。)

問49. 病院以外の場所(自宅やグループホーム等)で生活することを希望しますか。
(該当する番号1つに○をつけてください。)

1. はい

2. いいえ

3. わからない

問50. 退院することになった場合、心配なことはありますか。
(該当する番号3つまで○をつけてください。)

1. 退院して生活する自信がない(買い物やお金のやりくり、さまざまな手続きなど)

2. 退院後住む場所を探すことに不安を感じる

3. バスや電車などの乗り方、銀行の使い方など、新しいことを覚えることが難しい
おも

4. どんな1日を過ごしていいのかわからず不安を感じる

5. 仕事に就くことは難しく、収入がないので退院しても生活のめどが立たない

6. 近所の人との付き合いをどうしたらいいのかわからない

7. 病状や体調が悪くなった時のことを考えると不安を感じる

8. 生活が変化することに不安を感じる

9. ひとり暮らしに不安を感じる

10. 病気がよくなっていない

11. 近くに利用できる施設がない

12. その他()

（問43で「1. 入院している」「2. 定期的に通院している」と答えた方にお聞きします。）

問53. 精神科・神経科・心療内科へ支払う費用を主に負担しているのはどなたですか。（該当する番号1つに○をつけてください。）

1. 本人（障害年金などを含む）

2. 父または母

3. 夫または妻

4. 子どもやその配偶者

5. その他の親族

6. 行政（生活保護など）

7. その他（ ）

（問53で費用を主に負担している人のお考えについてお聞きします。）

問54. 精神科・神経科・心療内科に支払っている費用の負担感について、次の中からお答えください。（該当する番号1つに○をつけてください。）

1. 非常に負担を感じている

2. どちらかといえば負担を感じる

3. あまり負担を感じない

4. 全く負担を感じない

【難病や小児慢性特定疾病についてお聞きします】

(すべての方にお聞きします。)

問55. 難病または小児慢性特定疾病と診断されたことはありますか。
(該当する番号1つに○をつけてください。)

1. ある → <u>問56へ</u>	2. ない	3. わからない
---------------------	-------	----------

問58へ

(問55で「1. ある」と答えた方にお聞きします。)

問56. 難病または小児慢性特定疾病のために、継続的に、複数の医療機関(病院や診療所)を利用していますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

「2. 複数の病院・診療所を利用している」と答えた方は、利用箇所数をご記入ください。

1. 利用している病院または診療所は1か所だけ
2. 複数の病院・診療所を利用している → <input type="text"/> 箇所利用している

問57. その医療機関はどこにありますか。
(該当する番号すべてに○をつけてください。)

1. さいたま市内	2. 県内の他の市町村	3. 県外
-----------	-------------	-------

せいねんこうけんせい ど き
【成年後見制度のことについてお聞きします】

かた き
(すべての方にお聞きします。)

せいねんこうけんせい ど にんちしょう ちてきしょうがい せいしんしょうがい ものごと はんたん のうりよく じゅうぶん
※成年後見制度とは、認知症、知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が十分
でない方について、本人の権利を守る援助者を選ぶことで、本人を法律的に保護し、支援す
るための制度です。

とい せいねんこうけんせい ど し がいとう ばんごう
問58. 成年後見制度を知っていますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

1. 制度名も知っているし、内容もわかる
2. 制度名は知っているが、内容はわからない
3. 制度名も内容も知らない

とい せいねんこうけんせい ど りよう がいとう ばんごう
問59. 成年後見制度を利用していますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)

1. 利用している
(該当する類型に○をつけてください。 → 後見 保佐 補助)
2. 利用していないが、利用したい
3. 利用したかったが、利用できなかった
4. 利用していないし、利用したいとも思っていない
5. わからない → 問61へ

→ 問61へ

とい こた かた き
(問59で「3、4」と答えられた方にお聞きします。)

とい りよう よてい りゆう なん
問60. 利用する予定がない(できない)理由は何ですか。
(該当する番号3つまで○をつけてください。)

1. 意思能力に問題がなく、制度を利用する必要がない
2. 制度についてよくわからない
3. 相談窓口がわからない
4. 支援者が制度について理解していなかった
5. 制度そのものに反対である
6. 手続きが複雑である
7. 申立て費用、報酬等の負担がある
8. 後見人等に身上監護や金銭管理を委ねることが心配
9. 親など介護者が元気なうちは、介護者自身が身上監護や金銭管理をしたい
10. その他 ()
11. 理由は特にないが、制度を利用する予定はない

しょうがいしゃ りかい き
【障害者への理解についてお聞きします】

かた き
(すべての方にお聞きします。)

とい 問 6 1. あなたは、しょうがいしゃてちょう も しょうがい びょうき
しゅうい つた がいとう ばんごう
周囲に伝えていますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)

1. かそく つた 家族に伝えている
2. した ゆうじん つた 親しい友人に伝えている
3. がっこう ゆうじん しょくば どうりょう つた 学校の友人や職場の同僚に伝えている
4. がっこう しょくば つた 学校や職場に伝えている
5. その他 ()
6. つた 伝えていない

とい 問 6 2. あなたが、しょうがいしゃてちょう も しょうがい びょうき
しゅうい つた りゆう
周囲に伝えないことはありますか。また、それはどんな理由ですか。
(該当する番号すべてに○をつけてください。)

1. さべつ へんけん つた 差別や偏見のおそれがあるから伝えない
2. せけん め き つた 世間の目が気になるから伝えない
3. かそく いこう つた 家族の意向のために伝えない
4. つた 伝えても、わかってももらえないから伝えない
5. とく つた ひつよう つた 特に伝える必要がないから伝えない
6. その他 ()
7. とく もんたい つた 特に問題なく伝える

問 6 3. 障害者への理解を深めるために力を入れるべきことは何だと思えますか。
 (該当する番号すべてに○をつけてください。)

1. スポーツを通じた障害者と地域の人々との交流
2. 文化活動を通じた障害者と地域の人々との交流
3. 障害福祉をテーマとした講座や講演会の開催
4. 福祉施設を地域に開かれたものにする
5. 小・中学校、高校、大学等での福祉教育の充実
6. 障害者の活動の積極的なPR
7. 支援グループの育成
 → 育成すべき支援グループ (当事者団体・家族会・その他 ())
8. ボランティアの育成
9. 障害者自身が積極的に社会参加をする
10. 障害者差別解消法や障害者雇用促進法を市民に広く知らせ、理解してもらえ
 るように働きかけてほしい
11. その他 ()
12. 特にな

問 6 4. さいたま市では、障害者への虐待や差別の禁止を掲げた「誰もが共に暮らすための障害者の権利の擁護等に関する条例 (ノーマライゼーション条例)」を施行しています。あなたは、このことについて知っていますか。
 (該当する番号1つに○をつけてください。)

1. 名前も知っているし、どのような条例かも知っている
2. 名前は知っているが、どのような条例かは知らない
3. まったく知らない

しょうがいしゃ し さく ようぼう き
【障害者施策への要望についてお聞きします】

かた き
(すべての方にお聞きします。)

とい 65. しょうがいしゃ し さく たい のぞ と く
障害者施策に対して望むこと、取り組んでほしいことはありますか。
がいどう ばんごう
(該当する番号3つまで○をつけてください。)

1. しょうがいしゃ せたいむ こうえいじゆうたく せいび
障害者世帯向け公営住宅の整備
2. かくしゆてあて しんしんしょうがいしゃふくしてあて しょとくほしょう じゆうじつ
各種手当(心身障害者福祉手当など)の所得保障の充実
3. いりょうひ ふたんけいげん
医療費の負担軽減
4. しょうがいしゃ しゆうろう こようし さく じゆうじつ
障害者の就労や雇用施策の充実
5. きんきゆうじ れんらくしゆだん かくほ ほうさいたいさく じゆうじつ
緊急時の連絡手段の確保、防災対策の充実
6. どうろ こうつうきかん こうきょうけんちくぶつとう りよう ようい し さく じゆうじつ
道路、交通機関、公共建築物等の利用を容易にするための施策の充実
7. てんじとしょ ろくおんとしょ かくだいもじ しゆわほうそう しまくほうそう じょうほうていきょう じゆうじつ
点字図書、録音図書、拡大文字、手話放送、字幕放送などの情報提供の充実
8. しゆわつうやく ようやくひつきせいど じゆうじつ
手話通訳、要約筆記制度の充実
9. しょうがいしゃ かつどう たい しえん
障害者のスポーツ活動などに対する支援
10. しょうがいしゃ げいじゆつ ぶんかかつどう たい しえん
障害者の芸術、文化活動などに対する支援
11. ふくしきよういく かつどう しょうがいしゆりかい しょうがいしゃ こうりゆう そくしん
福祉教育やボランティア活動などの障害者理解や障害者との交流の促進
12. しょうがいしゃ いけん ようぼう はんえい ば じゆうじつ
障害者の意見や要望を反映しやすい場の充実
13. こま とぎ なや とぎ そうだんまどぐち じゆうじつ
困った時、悩んだ時のための相談窓口の充実
14. ホームヘルプサービスの充実 じゆうじつ
15. ショートステイの充実 じゆうじつ
16. じどうはったつしえん ほうかごとう せいび
児童発達支援や放課後等デイサービスの整備
17. せいかつかいご にちちゆうかつどう ば せいび
生活介護などの日中活動の場の整備
18. グループホームの整備 せいび
19. きのうくんれん じゆうじつ
機能訓練の充実
20. しゆうろういこうしえん しゆうろうけいぞくしえん しょうがいしゃ しゆうろう む しえん おこな しせつ
就労移行支援、就労継続支援といった障害者の就労へ向けた支援を行う施設の
せいび
整備

じ つつ
→次ページへ続く

